

(第1号様式)

神奈川県教育委員会教育長 殿

平成26年4月30日

県立大師高等学校長

平成26年度学校目標設定報告書

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
1 生徒の幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育活動を展開し、生徒が自主的・主体的となる授業を行うことで、生徒の思考力・判断力・表現力を育みます。	ア 生徒の多様な学習ニーズに対応した多様な選択科目の特色を生かす、魅力ある教育課程の展開に努める。 イ 将来を見据えた科目選択をする力を育成する。 ウ 体験・発表を重視し表現力、判断力、思考力を育てる総合選択科目の編成を図る。	ア 生徒ニーズを踏まえた、教育課程や科目内容の検討が行われたか。 イ 科目ガイダンスや相談体制を整え、履修指導が十分に行われたか。 ウ 体験学習や発表等を重視した科目の編成や授業展開が図れたか。
2 基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として求められるコミュニケーション能力を育むため、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援を進めます。	ア 家庭の理解と協力を得ながら服装・頭髪・遅刻指導を行い継続的に指導する。 イ 学校生活の様々な教育活動の中でマナーやモラルの向上を図り規範意識の確立を目指す。 ウ 生徒相談体制の充実を図るとともに、情報の共有化に努め、適切で迅速な支援を行う。 エ いじめの早期発見に努め、迅速に対応する。	ア 遅刻者数や頭髪指導件数が減少したか。 イ 近隣からの苦情等が減少し、挨拶ができていくか。 ウ ケース会議や年次会が有効に機能したか。 エ いじめ対策等検討会議が有機的に機能したか。
3 将来の進路実現を見据え、学習意欲の向上と基礎学力の定着のため、教育課程の検討と共に、生徒のニーズに即した科目ガイダンスを再構築します。	ア 学習意欲を向上させ、基礎学力を定着させるカリキュラム編成を検討する。 イ 生徒主体の授業実践のための組織的な授業研究・授業改善を推進する。 ウ 科目ガイダンスの工夫を図り、生徒の実態とニーズに即した選択科目編成を図る。	ア 授業等の教育活動全般の満足度を向上できたか。 イ 組織的に授業研究・授業改善に取り組めたか。 ウ 積極的に取り組む生徒数は増加したか。
4 総合学科の特性を生かし、キャリアガイダンスの充実を図り、生徒の個性や適性を伸張し、生徒に望ましい職業観、勤労観を醸成します。	ア ガイダンス科目を通して学習の基礎力を育成するとともに、生徒の個性や適性、コミュニケーション能力の育成を図る。 イ 科目選択では、自らの進路、特性、興味関心について深く考え自己理解を深める取り組みを行う。 ウ 将来設計を考えるに当たり、様々な情報収集や職業体験を通じ、職業理解能力の育成を図る。	ア ガイダンス科目を通じて、個性や適性の理解が進んだか。 イ 自己に適した目標が設定できたか。 ウ 職業観の育成が図れたか。

<p>5 家庭や地域との協働・連携を通じ、地域の教育力を活用し、生徒のキャリア形成を促すと共に、地域・保護者に信頼される開かれた学校づくりを進めます。</p>	<p>ア 家庭との連携を密にし、三者面談等を通して生徒の状況の理解を深めながら、適切な学習支援・進路支援を行う。 イ 「産業社会と人間」「総合学習」「課題研究」において、地域や外部の教育力との連携を図る。 ウ PTA 活動を推進し、保護者の学校に対する理解と信頼を深める。</p>	<p>ア 家庭との連携を密にした生徒指導が行われたか。 イ 外部の教育力が有効に活用できたか。 ウ PTA 活動が活性化し、保護者の参加率が増加したか。</p>
<p>6 様々な広報活動により、教育活動への理解度を深めると共に、信頼に根ざした学校づくりを推進します。</p>	<p>ア 学校説明会やホームページ、新しい情報端末を活用して教育活動や活動状況を積極的に発信していく。 イ 生徒の防災意識を高め安全対策を強化し地域と連携した防災体制に努める。 ウ 事故不祥事防止のために適切な研修計画をたて、円滑な学校運営に努める。 エ 会計処理の円滑かつ迅速な処理に努める。</p>	<p>ア ホームページのアクセス数や説明会出席者数が増加したか。 イ 地域との連携した防災実践が図れたか。 ウ 組織的・計画的に研修が行われたか。 エ 会計諸伝票が適正に作成されたか。</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など ○社会生活に必要な基礎的・基本的な学力を身につけさせる。 ○社会生活上のルールやマナーを身につけ、それを守ろうとする態度を育成する。 ○成就感や達成感に基づく自己肯定感をもたせ、他を尊重する態度を育成する。 ○社会生活の中で、積極的に生きていくためのキャリア諸能力を育成する。</p>		